

# MOVEMENT

vol. 27

第79期 中間株主通信

2024年4月1日 ▶ 2024年9月30日

## CONTENTS

株主の皆さまへ	1
2025年3月期 中間連結決算ハイライト	1
第15次中期経営計画概要・Pick Up	3
サステナビリティ委員長インタビュー	5
TS Technology	7
セグメント別の状況	9
連結決算情報	10
個人株主さま工場見学会・株主メモ	裏表紙



ホンダ FREED用シート



理念

「人材重視」「喜ばれる企業」

社是

わたしたちは 常に モノづくりに夢を求めて  
無限の可能性に  
挑戦し  
快適で良質な商品を  
競争力のある価格で 世界のお客様に  
提供する

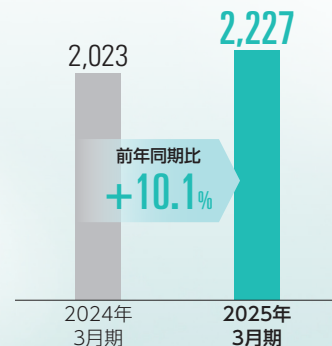


代表取締役 社長

保田真成

2025年3月期  
中間連結決算ハイライト

売上収益 (億円)



## 「第79期中間株主通信MOVEMENT」をお届けするにあたりご挨拶申し上げます

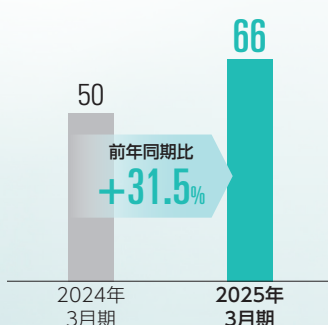
テイ・エス テックグループは、大変革期と言われる自動車業界において、2030年ビジョンとして「Innovative quality company—新たな価値を創造し続ける—」を掲げています。このビジョン実現に向けて、前期より始まった第15次中期経営計画(2024年3月期～2026年3月期、以下「第15次中期」)の2期目として、「成長戦略」「地域戦略」「機能戦略」からなる重点戦略に取り組んでいます。しかし、中国市場での日系メーカーの販売不振による生産台数の減少をはじめ、原材料価格や人件費の上昇など、自動車業界全体で大変厳しい事業環境が続いています。そのような中でも、着実に第15次中期末の業績目標を達成すべく、各地域において生産工程の自動化推進や生産体制の最適化など諸施策に取り組み、体質改善に努めています。今後も不確実な事業環境は続いていくと予想されるため、追加改善施策などを随時検討し、一層の事業成長を目指していきます。

なお、2025年3月期の通期見通しにつきましては減産影

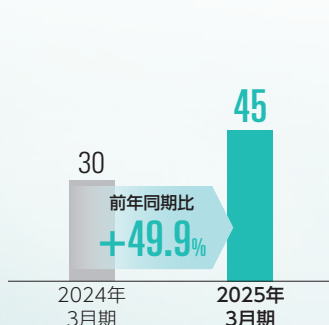
響等により当初計画を引き下げ、売上収益4,430億円、営業利益175億円、親会社の所有者に帰属する当期利益120億円といたしました。

また、第15次中期では、新たな株主還元方針「業績に左右されない、継続的かつ安定的な還元の実施」を掲げ、安定的な増配を計画しています。この方針のもと、1株当たり年間配当につきましては、配当予想を据え置き、この度実施いたします中間配当40円と、期末配当43円(予想)を加えた83円を予定しております。さらに、第15次中期累計で200億円規模の自己株式取得も計画しており、今期は150億円規模の自己株式取得を進めています。残りの自己株式取得や、さらなる株主還元施策を検討し、持続的な企業価値向上に努めてまいりますので、株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

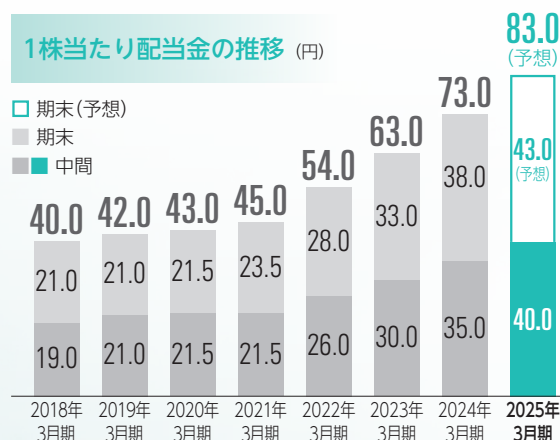
営業利益 (億円)



親会社の所有者に帰属する  
中間利益 (億円)



1株当たり配当金の推移 (円)



※当社は、2021年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っています。本グラフは、2018年3月期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して作成しています。

第15次中期経営計画では、目まぐるしく変化する市場環境への対応や収益性のいち早い回復はもとより、2030年ビジョン達成に向けたさらなる成長を果たすべく「成長戦略」「地域戦略」「機能戦略」の各領域からなる9つの重点戦略に取り組んでいます。

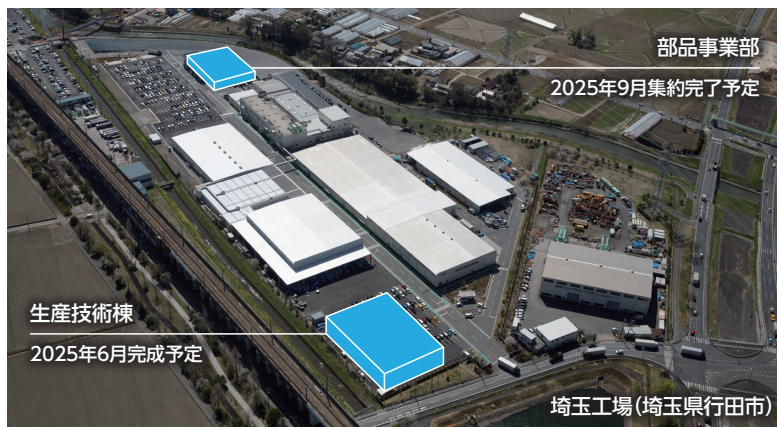
<第15次中期経営計画 重点戦略>

経営方針	ESG経営の実現		
成長戦略	重点戦略 1 キャビンコーディネート機能の獲得	重点戦略 2 新事業のさらなる拡大	重点戦略 3 主要客先シェア向上
地域戦略	重点戦略 4 北米収益体質のV字回復	重点戦略 5 中国事業戦略の再構築	重点戦略 6 欧州新事業の戦略的拡大
機能戦略	重点戦略 7 サプライチェーンの再構築	重点戦略 8 環境技術開発の推進強化	重点戦略 9 高効率生産体制の構築
人事・財務戦略 / 品質No.1評価の獲得 / サステナビリティの浸透・定着			

Pick Up ー各セグメントの取り組み内容ー

日本 ーさらなる高効率生産体制の構築ー

製造技術のさらなる進化と収益体質強化を目的として、埼玉工場内に製造技術と量産性の実証実験を可能とする新たな技術棟を新設することで、生産領域での技術開発強化を目指します。また、部品競争力向上に向けて、連結子会社であるティ・エス パーツ アンド サービス株式会社とサン化学工業株式会社の統合を進めており、両社が持つノウハウを相互補完することで、さらなる高効率生産体制の構築を図ります。



## 米州 – 環境変化に負けない収益体質の構築 –

米州では、その市場の大きさからグループ最大の売上収益を計上する一方、外部環境変化による労務費や原材料価格の高騰など、さまざまな要因から収益性に課題を残しています。生産工程の自動化設備や生産変動に柔軟な対応ができる立体自動倉庫システムなど、さらなる高効率生産の実現に向けた投資により、環境変化に負けない高収益体質へのV字回復を図ります。



立体自動倉庫

## 中国 – 新規商権獲得を受けた生産体制構築 –

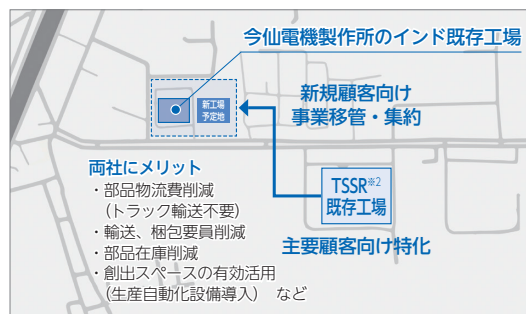
新規顧客(長安汽車グループ)からのリアシート受注に伴い、合弁子会社である重慶提愛思汽車零部件有限公司における生産体制構築を進めています。先行受注している他の現地自動車メーカーからのドアトリム商権とあわせ、現地顧客の求める短期開発・短期量産開始の実現を目指します。競争が激化する中国で勝ち残るべく、営業・開発体制の強化を進め、さらなる商権獲得につなげていきます。



## アジア・欧州 – インド新工場建設 –

マルチスズキ向け受注拡大に伴い、インドにおける生産体制の強化に取り組んでいます。株式会社今仙電機製作所<sup>※1</sup>のインド工場敷地内に新工場を建設し、生産能力拡大を図るとともに、既存工場で創出されたスペースを有効活用し、コスト競争力強化を図ります。また、本格稼働を開始したポーランド拠点は、欧州顧客向けに価格競争力のある製品供給が可能な立地を活かし、より一層の拡販を目指します。

※1 当グループは2020年11月より、販路・商権の拡大、技術・研究開発の強化、コスト競争力の強化などを目的に、同社と資本業務提携を締結しています。



※2 TS TECH SUN RAJASTHAN PRIVATE LIMITED



## 持続的な成長と 持続可能な社会の実現に向け 「人」の力を高めていく

執行役員 管理本部長  
サステナビリティ委員長

榊原 亮

テイ・エス テックグループでは、企業の持続的な成長に不可欠な社会的責任を果たすべく、サステナビリティ課題への取り組みを行っています。ここでは9月に発行された「テイ・エス テック 統合報告書2024」より、「サステナビリティ委員長インタビュー」の抜粋版をご紹介します。



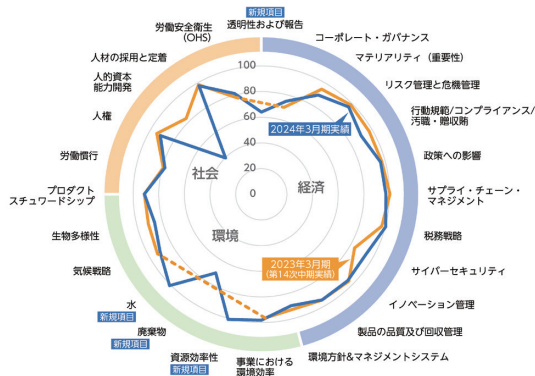
全文はこちらを  
ご覧ください

### これまでのサステナビリティへの取り組み

企業が持続的な成長を遂げるためには、企業としての社会的責任を果たし、事業活動を通じて社会課題に取り組んでいくことが不可欠です。当グループでは、第13次中期経営計画(2018年3月期～2020年3月期)から「ESG経営」を取り入れてきました。人こそが企業の決め手と考える「人材重視」、全てのステークホルダーから「喜ばれる企業」となるという二つの理念が根付いているからこそ、ESG経営に舵を切る際、会社の目指す方向性についてすぐに社内からの理

解を得ることができたと考えます。

さらに、14次中期経営計画(2021年3月期～2023年3月期)では、持続可能な社会の実現に向けて優先的に取り組むサステナビリティ課題として、マテリアリティ(重要課題)を特定するとともにKPIを設定し、2030年目標を掲げました。これまでのサステナビリティに関する積極的な取り組みがDJSI<sup>※1</sup>に基づく評価で高い評価をいただいております。第15次中期経営計画(2024年3月期～2026年3月期、以下「第15次中期」)では、ESG経営の集大成として「ESG経営の実現」を掲げ、さらなる企業価値向上を実現していきます。



※1 米国S&P Dow Jones Indices社が毎年公表するサステナビリティに関するインデックス(指標)で、環境・社会・ガバナンス/経済の側面から企業の持続可能性を評価するもの

※2 業界の最高位を100とした際の自社位置を示す

## 中期経営計画初年度の取り組み

第15次中期の初年度(2024年3月期)は、サステナビリティの各領域でおおむね計画通りに施策を推進できたと考えています。

社会領域では、未来の車室内空間を想定した研究開発や環境対応技術の開発を推し進め、さらなる品質向上に向け改善活動に取り組みました。

環境領域では、省エネルギー施策の水平展開や、再生可能エネルギーの導入拡大に向けての最善手法検討や計画立案を行ってきました。さらに、社員のサステナビリティ意識向上を目的に、「ティ・エス テック基金」を設立しました。環境に関する取り組みを進めるためには、一人ひとりが環境に配慮した行動を実践する「ソフト」面と、省エネルギー設備や再生可能エネルギーの導入など「ハード」面からのアプローチが必要です。これらの取り組みを実効性あるものとするための「意識」も重要であり、この基金を通じてさらなるサステナビリティ意識の醸成につなげていきます。

企業基盤領域では、人権方針の策定や多様な人材の管理職比率向上に向けた取り組みなどを推進しています。また、当グループのサステナビリティに対する考え方をお取引先と共有するためのガイドラインについて、「人権・労働」「環境」の二項目において改正を実施し、お取引先への周知を行いました。

## 今後力を入れていく取り組み

大変革期にある自動車業界において新たな価値を創造し続けるためには、多様な人材の力が不可欠です。社員一人ひとりが各々の能力を発揮できるよう、柔軟な働き方を可能とする制度を導入しており、今後も時流を捉えた働き方ができる環境を整えていくとともに、多様な人材確保に向けた採用チャネルの開拓を行っていきます。また、後継者育成は重要な課題の一つであると捉えています。現在の立場や等級に期待される役割を全うすることに加え、より上位の役割を果たすための能力や意識の成長を図るべく、研修プログラムの充実化や、定期的な上司とのフィードバック面談などを通じて自己成長を促していきます。そして、当グループのさらなる成長には、社員のエンゲージメント向上も重要です。毎年実施しているエンゲージメント調査では、各本部の責任者が認識する課題や解決に向けた施策を経営陣に共有することで、現場任せで終わらせず、効果的な施策につなげています。

「人」は新たな価値創造の源泉であり、企業成長に不可欠な資本です。今後も「人」への投資を惜しまず、さらなる成長と持続可能な社会の実現に向けた取り組みを加速することで、ステークホルダーの皆さまから存在を期待され「喜ばれる企業」であり続けることを目指します。



## コンパクトなボディに 魅力がギュッと詰まった 室内空間

家族の毎日を支え、暮らしに寄り添うちょうどいいクルマ、ホンダ「FREED」。  
初代の発売から、今も多くのユーザーに笑顔をお届け続けるコンパクトミニバン  
「FREED」のシート開発に迫りました。



ホンダ  
FREED用シート



第一設計部 設計PL  
(プロジェクトリーダー)

竹内 太輝



機種計画部  
造形・外観仕上げ担当

小森 剛史



購買一部  
コスト領域担当

名取 大和

所属・役職は取材当時

**名取:** 先代モデルのフリードのシート生産は他社が手掛けており、新型の商標獲得に向けては、仕様・造り・コストの各領域において、お客さまの期待を上回る提案をしなければ受注獲得はできませんでした。中でも、コスト領域におけるお客さまからの期待は非常に高く、先代モデルの流用部品が使える競合相手に対して、いかに競争力を高めるかが重要なポイントでした。

**竹内:** そのために技術面で挑戦したことは、お客さまが求める仕様の最適化です。フレームやそれを造るための金型などをどのように最適化するかの検討を重ね、効率的な仕

様を追求することで、造りだけではなく原価低減にも大きく貢献することができました。また、単に新規設計に頼るだけではなく、当社がこれまでに培ってきた技術や実績を活かすことを選びました。お客さまから高く評価された過去の製品の仕様を、新型モデルに適応させてアップデートすることで、コスト削減と競争力強化を同時に実現したのです。こうした柔軟な発想が、開発から量産に至るまでの効率化にもつながり、生産工程でのロス削減に大きく寄与し、今回の受注獲得につながりました。

**小森**：それぞれのシートも進化させています。フロントシートは、当社の主力シートフレームが採用されており、体圧を面で受け止める構造により、快適な座り心地へと進化しています。また、シートの角は丸みを持たせたデザインになっており、後席への移動がよりしやすくワークスルー性が向上しています。



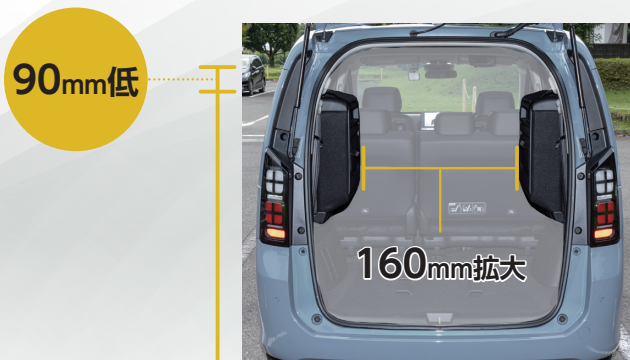
シートに丸みを持たせたことで先代よりも前席・後席の移動が楽んなシートに進化！



もも下保持感アップ

**小森**：リアシートについても、先代モデル同等以上の座り心地を追求しています。その上で、より利便性を向上させるために、座り心地を維持しながらもシートの薄型・軽量化を実現させました。その甲斐もあり、先代モデルよりも荷室幅をより広く使えるようになっていきます。また、シートの跳ね上げ機構を工夫し、回転軸をより低い位置にしたことで、小柄な方でも操作しやすく利便性を向上させています。

フリードには、3列仕様から、より荷室重視の2列仕様があり、ユーザーのライフスタイルに合わせて、シートアレンジを自在に変更できるのも特徴ですね。



**名取**：機種の特徴を踏まえた開発を進める中で、購買部門として取引先や開発・生産部門と緊密に連携し、コスト管理に注力しました。その結果、お客様の期待に応えることができ、より良い成果につながりました。

**竹内**：この製品が形になるまでに試行錯誤を重ねましたが、部門間で仕事の線引きをすることなくチーム一丸となって推進することができました。これからもお客さまに「喜ばれる企業」であり続けるために、モノづくりの精神を次世代を担う方々へとつなぎ、全員で新しい価値を追求していきます。

# セグメント別の状況



## 日本

### 売上収益

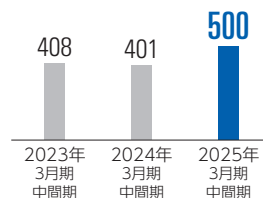
主要客先向けの増産効果や新事業売上\*の増加等により増収となりました。

### 営業利益

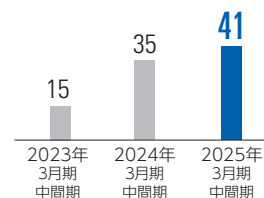
諸経費の増加はありましたが、増収効果等により増益となりました。

\*本田技研工業株式会社および同社の関係会社等以外への売上

### 売上収益 (億円)



### 営業利益 (億円)



## 米州

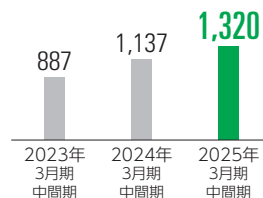
### 売上収益

為替換算効果や増産効果等により増収となりました。

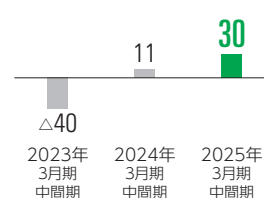
### 営業利益

諸経費の増加はありましたが、増収効果や機種構成の良化等により増益となりました。

### 売上収益 (億円)



### 営業利益または損失 (億円)



## 中国

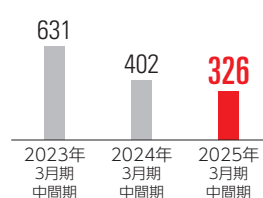
### 売上収益

為替換算効果や機種構成の良化はありましたが、減産影響等により減収となりました。

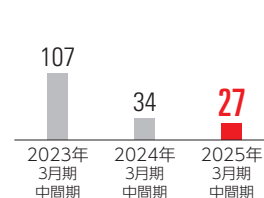
### 営業利益

諸経費の抑制に努めましたが、減収影響等により減益となりました。

### 売上収益 (億円)



### 営業利益 (億円)



## アジア・欧州

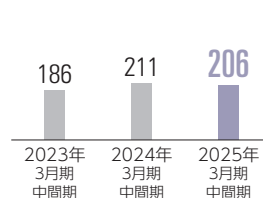
### 売上収益

為替換算効果や二輪売上の増加はありましたが、減産影響等により微減となりました。

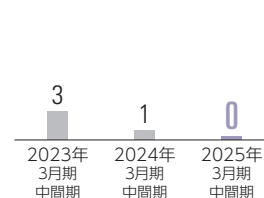
### 営業利益

原価低減に努めましたが、減収影響等により減益となりました。

### 売上収益 (億円)



### 営業利益 (億円)



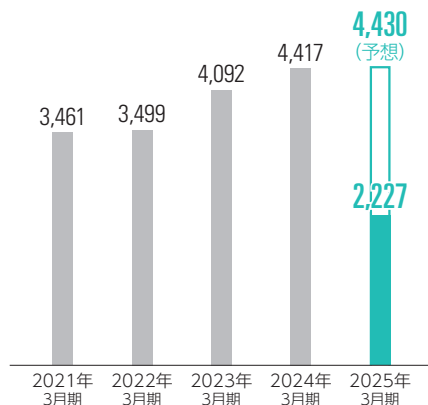
## 連結決算情報

当グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上を目的に、国際会計基準(IFRS)を適用しています。

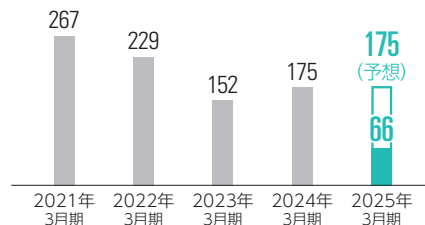
### 連結損益計算書

□ 通期(予想) ■ 通期 ■ 中間期

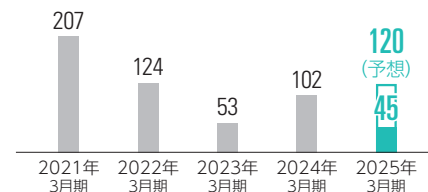
売上収益 (億円)



営業利益 (億円)



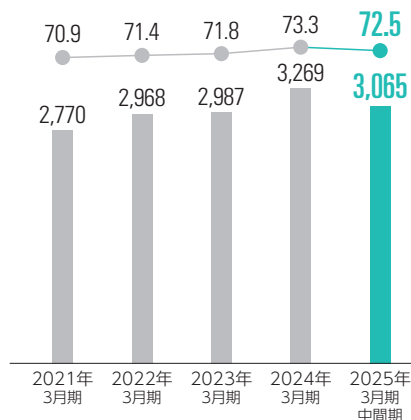
親会社の所有者に帰属する当期利益 (億円)



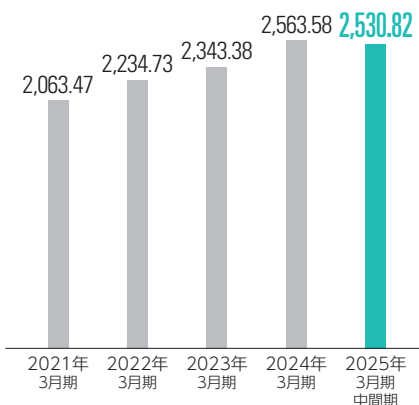
### 各種指標

親会社の所有者に帰属する持分 (億円)

親会社所有者帰属持分比率 (%)

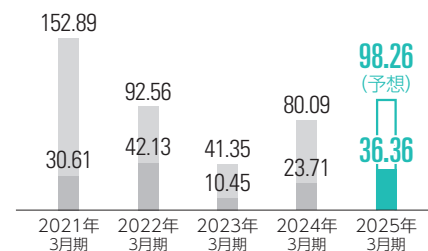


1株当たり親会社所有者帰属持分 (円)



基本的1株当たり利益 (円)

□ 通期(予想)  
■ 通期  
■ 中間期



# 個人株主さま 工場見学会のご案内

テイ・エス テックでは株主の皆さまに  
より一層当社についてご理解いただくために  
埼玉工場の見学会を開催いたします。  
参加をご希望される株主さまにつきましては、  
以下概要をご確認の上、ぜひお申込みください。



自動車の  
シートづくりを  
見てみませんか？



埼玉工場

- 開催日時** 2025年2月24日（月・振休）  
詳細日程につきましては、応募フォームをご確認ください。
- 開催場所** テイ・エス テック株式会社 埼玉工場  
埼玉県行田市野3600 ※北鴻巣駅より無料送迎バスあり
- 対象者** 本株主通信を受け取られた株主さま\* \*2024年9月末時点  
ご同伴者1名まで可
- 募集人数** 20名程度
- 参加費** 無料 ※集合・解散場所までの往復交通費は各自ご負担となります。
- 応募方法** 以下二次元コードまたは、URLよりご応募ください。



<https://forms.office.com/r/gk2q3K7C7U>

締切日：2024年12月20日（金）

## 確認事項

- ご応募多数の場合は抽選となります。厳正な抽選の上、当選発表は当選者への「工場見学会ご案内」の郵送（2025年1月頃予定）をもって代えさせていただきます。
- 見学当日は、公共の交通機関でお越しください。
- ご見学時は、1時間程度の徒歩移動がございますので、健康面に不安がある方はご参加をお控えください。
- ご見学時は、写真・ビデオ等の撮影をご遠慮いただきますので、あらかじめご了承ください。
- 安全面を考慮し、未就学児のご参加はご遠慮願います。
- ご応募により当社が取得する個人情報、本目的以外には使用いたしません。
- 天候不良や災害などの状況により、やむを得ず開催を中止させていただく場合がございます。その場合は前日にメールにてご連絡いたします。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人および 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年6月	郵便物送付先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号（〒168-0063） 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株	（電話照会先）	電話 0120-782-031（フリーダイヤル）
基準日	定時株主総会の議決権	公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。公告掲載URL（ <a href="https://www.tstech.co.jp">https://www.tstech.co.jp</a> ）
	期末配当		
	中間配当		

お問い合わせ先

コーポレート・コミュニケーション部 広報課

電話 048-462-1136（平日9：00～17：00）

メール [pr.tstech@tstech.com](mailto:pr.tstech@tstech.com)

**TSTech** テイ・エス・テック株式会社

本社 埼玉県朝霞市栄町3丁目7番27号 〒351-0012  
TEL 048-462-1121 FAX 048-465-0403



**UD FONT**

